

学校教育目標	「自分でできる(自主) みんなとできる(協働)」～主体的に学び、温かい人間関係を育む子どもの育成～				
	○自ら学び、互いに高め合い、「知」を構築する力を育みます。(知) ○礼儀や規範意識を大切に、他者を思いやる豊かな心を育みます。(徳) ○自他の命を尊重し、心身ともに健やかな子どもを育みます。(体) ○地域を大切に、社会の一員として協働する姿勢を育みます。(公) ○コミュニケーションを大切に、様々な変化に柔軟に対応できる力を育みます。(開)				
学校概要	創立 148 周年	学校長 佐藤 正淳	副校長 飯塚 英恵	2 学期制	一般学級: 21 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 689 人 主な関係校: 山内中学校 中川西中学校 あざみ野中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	山内中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
コミュニケーション能力 自分づくり能力	山内中学校 山内小学校 新石川小学校 元石川小学校 美しが丘西小学校	○思いやりや感謝の気持ちを持ち、互いに尊重し合って生活できる子ども ○豊かに学び合い、社会の一員として自ら判断し、責任をもって行動できる子ども 「主体的な学びができる子どもを育てるための手立て・工夫」を取組目標に設定し、ブロック授業研等を通して情報共有をする。 ・児童生徒交流日に、6年生が中学校の授業を積極的に参観する。

中期取組目標	◆「誰一人とり残さない学校」「共育・共創の学校」に向け、子どもを中心に学校・保護者・地域が一体となって学校運営を進めます◆ ・3年ぶりに取り組む「重点研究(国語)」を通し、主体的な学びを中心とした授業改善を進め、「山内小 学びのスタンダードVol.1」を定めます。 ・「山内小スタンダード」等による“揃えた指導”等を通して規範意識や思いやりの心を醸成し、誰もが安心して通える学校づくりを進めます。 ・“一人の子を複数で”の理念に沿い、教科分担制、特別支援教室、校内フリースクールでの教育活動を充実させます。 ・「教職員の元気が子どもの笑顔をつくる」という視点で、ワークシェアやアウトソーシング等も積極的に行い、働き方改革を進めます。 ・「Y-NEXT」を打ち出し、学校だけではできない学びを社会や自らの将来につなぐことができるよう、企業等と連携した取組を進めます。 ・SDGsや自分づくり(キャリア形成)の取組から、社会や将来とのつなぐ視野を広げ、子どもたちの意識を高めます。 ・「Yぶらす(地域学校協働本部)」各種活動の確実な推進と、「学校運営協議会(R3.10予定)」の設置に向けた準備を進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①主体的に学ぶ児童を育てるための研修から、実践後の児童の変容を見とる。 ・学びを広げ深める姿勢と技能の獲得。・自分で自分の学びを評価するサイクルの習慣化。 ②主体的に学ぶ方法の一つとしてiPadの活用方法を共有し、より良い活用について研究する。
担当 研究推進委員会・GIGA委員会	
豊かな心	①児童自身が自己理解を深め、「自分づくり」を進められる道徳教育をデザインする。 ・自分の目標を持ち、自己をふり返り、次の行動を起こす子どもの育成を進める。 ・あいさつから始まる、気持ちの良い協働力の育成を進める。
担当 児童指導・道徳部	
健やかな体	①一校一実践の「がんちゃん(がんばりチャンピオン)」を中心に、運動の「できた」を可視化し、運動に対する主体性を育成する。
担当 体育部	
特別支援教育	①特別支援教室利用児童の居場所づくりや支援体制を整えていくとともに、研修を通して誰もが安心できる学級風土づくりを進める。
担当 特別支援コーディネーター	
児童指導	①あったかハートな学校風土にするために、YPアセスメント等を活用した支援検討会を通して、関わる教職員が児童理解や学級の実態を共通に理解する。 ②横浜プログラムを継続的に実施し、社会的スキルの育成を図る。
担当 児童指導・Gプロ	
地域連携	①地域学校協働本部の活動を軸に地域コーディネーター等と連携を図りながら、地域に根差した学習材や人材の開発を推進し、まちを愛し社会とつながって生きる子どもの育成をはかる。
担当 地域学校協働本部	
未来を開く志	①SDGsが示す17のゴールと学校教育活動を関連付け、社会とのつながりを実感できる学習を行う。 ②「自分づくり」や「Yぶらす」などの実践から、自分の将来や未来をつくる活動に目を向ける機会をつくる。
担当 総合部・特活部	
働き方改革	①業務の平準化。全学年に専科の時間確保。職員室業務アシスタント等とのワークシェア。 ②障がい福祉サービス事業所(かたるべ会)との連携。清掃や教職員が担ってきた軽作業の依頼。 ③毎週火曜日の「自分づくりDay(=宿題なし)」、水曜日の定時退勤(Noリターン)の推進。
担当 教務	
いじめへの対応	①職員いじめ防止委員会の設置と研修の実施。 ②児童会に「いじめ防止委員会」を設置し、各学級での「いじめについての話し合い」を推進する。 ③年2回児童アンケートを実施。事後に児童との面談を行い、いじめの芽をキャッチする。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・組織運営	①メンターチームでの授業実践及び校内研修を定期的に行い、教師としての力量を高める。 ②校務分掌にかかわる組織を適材適所で生かし、ボトムアップの検討、発信を推進する。 ③コロナ対応にかかわる情報や対応を共有し、全教職員一丸となった組織的な対応を行う。
担当 教務	